ここが聞きたい!!

7名が登壇

久賀火葬場は閉鎖？

浜　戸　信　充議員

久賀火葬場

問 久賀火葬場は閉鎖方針のようですが、平成２年の建設で、まだ十分使用可能と思われるが、再考は出来ないか。

答（町長）18年度は通年の管理費を計上し、年度中に検討し結論を得たいと考えているので理解願いたい。

意見 合併後、わずか１年足らずで、小中学校の統廃合を含め、サービスが低下しつつある。地元の声を十分聞いて、閉鎖をしないで頂きたい。

現在本町には、14小学校並びに９中学校がある。内10小学校は複式校、全校生徒30人未満の中学校が５校という状況である。これに対し、第１回小中学校統廃合問題懇談会並びに保護者説明会を、昨年８月から９月にかけて教育委員会が開催した。また町広報にも10、11月号に掲載された。

説明会での保護者の要望、12月下旬に受けた各学校の耐震強度検査結果等が検討され、統合問題推進協議会を開催。まずは中学校２校案を推進する方向で、第２回懇談会及び保護者説明会が、本年２月から３月にかけて行われた。

教育委員会から提示された２校案は、町内を東部・西部地区に分割し、東部は現安下庄中、西部は現大島中の施設を利用。大島中の屋内運動場は改築する。また、遠距離通学対策として、スクールバス案も含めて、町全体の交通体系の見直しも検討されている。

統合の時期としては、平成20年４月を目標としており、その校区に関しては末尾の別表を基本にして、今後詳細を協議していく予定。

統合の実現に際して、一番必要なものは地元と保護者の理解であり、また何よりも優先されるべきは、生徒達の教育環境の改善である。生徒数からみれば小規模校という問題は改善される。しかし通学距離を思うと不安も残り、ここでなければ納得できないと言う地元意識も障害の一要因である。

まだまだ難問山積の状況ではあるが、平田教育長の「統合せざるを得なかったからではなく、前進のための統合であり、そこからがスタートだと考えています。」という言葉が印象に残った。

	校　区（各中学校名）
東　部	安下庄、東和、日良居、油田
西　部	大島、沖浦、蒲野、久賀